

白川郷学園
保護者の皆様

白川村立白川郷学園
校長 川瀬 秀樹

「保護者学校評価」等をもとにした学園の対応について

春寒の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は、白川郷学園の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、保護者の皆様や学校運営協議会の皆様による「学校評価アンケート」の数値結果やご意見を受け、来年度の学園の対応を検討いたしましたので、お知らせいたします。

今後も、教育目標「ひとりだち」に向けて充実した学校教育を目指してまいります。ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【主な対応】

(1) 自ら学び、確かな学力を身に付ける取組を始めます

自身の習熟度の理解や、目標をもって家庭学習に取り組むことへの課題が見られました。そのため、1単位時間の授業を50分間から45分間にし、余剰の5分間をひとりだちタイムとし、自分の課題に沿った目標を立て、年間を通して継続的に主体的に課題を克服する時間を設けます。

<数値結果> 数値は11月の4段階評価の平均
▲評価項目⑨「家庭学習」**2.59**(7月↘11月)
▲評価項目⑦「授業への意欲」2.98(↘)
○評価項目⑩「分かりやすい授業」**3.5**(↗)

(2) 「生活の約束」を改善し、児童生徒主体のルールづくりを進めます

学校のルールを守るという規範意識は非常に高く、ルールを破る児童生徒は白川郷学園にはいません。一方で、より生活しやすいルールを新たに創意工夫することには弱さがあります。今を生きる子どもたちが、より生活しやすいルール作りを自分たちの手でできるよう、ルールメイキングの場を設け、子どもたちの主体性向上を図ります。

<数値結果>
▲評価項目⑦「進んで挨拶」2.98(→)
▲評価項目⑧「ルールを守る」3.01(↘)
○評価項目⑱「学習生活環境」**3.55**(↘)

(3) 子どもたちが余裕をもち、より成長できるよう二期制、単元テストを継続します

今年度から取組を始めた「二期制」と「単元テスト」については、子ども、保護者、職員それぞれから大変高い評価を得ています。「先生と話すことが多くなった。」「集中して学習に取り組めるようになった。」等の声が聞こえています。次年度も継続し、さらに子どもたちに還元できる方途を模索していきます。

<数値結果>
□評価項目⑳「二期制」3.41(↘)
○評価項目㉑「単元テスト」**3.84**(↗)

<ご意見>

・単元テストの結果を見たことがほとんど無いので、出来ているのかそうではないのかさえ不明。学園としては単元テストが学力向上に繋がっているのかどうか知りたい。

→学習カルテを活用して、ひとりだちタイムにおける学習計画を立てるなどより子どもたちが活用しやすく、保護者のお子様の学習状況が伝わるようアップデートしていきます。

・学園を出て様々な地域へ出向いた際に現状をメールで知らせてくれたことがすごく嬉しかったですし、安心しました。

→すぐへの運用について今後も継続し、より積極的な発信を心がけていきます。

※アンケート全体の数値結果は、ホームページにて確認できます。